

くすのき



南足柄市立岡本小学校
令和2年4月6日
校長 津田千由美
No. 1

信頼と共生のワンチーム

49名の新生を迎え、全校児童360名と教職員55名の構成で、令和2年度の岡本小学校がスタートしました。

昨年度末より、着々と新年度の準備を進めていたところですが、新型コロナウイルス感染症予防のため、4月7日より再度の臨時休校を余儀なくされました。年度初めの休校措置ということで、保護者の皆様と子どもたちには、多大なご迷惑と不安を抱かせてしまいますが、「子どもたちの命を守ることを最優先」という原点に立ち戻り、教職員一同受け入れ体制を進めてきました。

令和2年度の始業式は子どもたちの顔を見ることができずとても残念でしたが、放送をとおして私の思いを伝えました。



始業式の話の一部を紹介します。

「校長先生は、みなさんに、『思いやりのある子』『かしこい子』『目標にむかって粘り強く取り組む子』『ともに生きる子』になってほしい。『思いやりのある子』って、どんな子？『かしこい子』って、どんな子？『目標にむかって粘り強く取り組む子』って、どんな子？『ともに生きる子』ってどんな子？

これから、皆さんと一緒に考えながら、この一年間、たくさんのことに挑戦していきましょう。

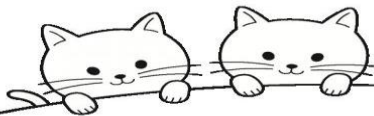
最後に、校長先生から皆さんに宿題を出します。今日と明日の2日間の宿題です。それは『担任の先生の良いところを、一つ見つけよう』です。宿題が終わった人は、ぜひおうちの人に教えてあげてください。そして、校長先生にも教えてください。」

今年度の学校経営の合言葉は、「信頼と共生のワンチーム」です。ですから、担任の先生にも同じ宿題を出しました。「この2日間で、学級の良さを見つけよう」

互いの良さを認めることは、信頼関係を築くための大事な一歩です。これがないことには信頼関係はむすべません。それぞれのご家庭で、「担任の先生の良いところ」をぜひ話題にしてみてください。

それが一番
やまもと よしき
その人のことで不愉快になったら
その人の良いところを探そう
みつからなくてもあきらめないで
一生懸命探してみよう
一つでも 二つでもいい
良いところが見つかったら
その時は許してあげよう
自分だって
悪いところたくさんあるんだもの
それが一番

保護者の皆様から信頼を得られるよう、教職員一同、尽力してまいります。家庭と学校、「信頼」という太いパイプでつながっていきましょう。



つぶやき



4月3日、朝の打ち合わせで、臨時休校の対応について話し合いが行われました。前の学年のプリントを準備しよう。でも、一年生はどうしようか。「グラウンド開放の折には、子どもたちとコミュニケーションをとってみたいからどうだろう。」
「3つの『密』を作らないように：でも、子どもたちがタッチをせがんできたらどうしよう。」
「これまで誰もが経験したことのない非常事態、答えは見つかりません。私たち教職員も迷いながら苦戦をしています。こうした厳しい状況の中で、周りの方々からの励まし言葉がどれほどの支えになるか：」
「PTA役員の方からは「教室の消毒液が足りていなかったら、声をかけてください」と。」
「ある保護者からは、「声をかけていただければいつでも応援にいきます」と。」
「地域の方からは、「臨時休校中に、壊れている遊具をなおします」と。」
「また、4月3日の夜遅くには、教育委員会の方が来られ、新1年生も自宅でもeラーニングができるようにしたい、ネット環境を整えてくださいました。」
「岡本小学校は、こうした多くの方々の支えの中で成り立っている。今の頃です。温かさが身に沁みる今日この頃です。」
「津田千由美が発行します。新学期も津田千由美が教育に関する情報をお知らせしたいと考えます。皆様とのパイプ役とお読みください。」